

企画展

四日市に生息する特定外来生物

『変わりつつある四日市の自然』

◆1階 展示コーナー 開館中はいつでもご覧いただけます。◆



外来生物とはもともとその地域にいなかったのに、人間の活動により他の地域から入ってきた生物のことを指します。

四日市市内においても、動物7種類、植物4種類が生息しています。



例えば、北米原産のオオキンケイギクは観賞用として明治時代に輸入されました。しかし、繁殖力が強く、10年ほど前から増え続け、市内のいたるところに生育して従来からの植生に影響を及ぼしています。

多年草で、5月になると花をつけはじめ、6月にかけて一面に黄色い花が目立つようになります。

コスモスに似たきれいな花を咲かせるため、特定外来生物と知らずに、庭先で栽培されている例もあります。

「四日市市特定外来生物分布調査報告書」より

